2 月 7 日：利益確定圧力の中で VN 指数は上昇

ベトナム株は金曜日にわずかに上昇、それまで上昇していた大型株を中心として、利益確定圧力が高まる中でのことだった。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.24%高の 940.75 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は 2 営業日で 1.6%の上昇、週間ベースでも 0.44%の上昇となった。

出来高は 1 億 9400 万株で売買代金にして 4.09 兆ドンであった。

185 銘柄の上昇に対して 161 銘柄が下落した。

時価総額ごとに分類される VN30 指数、VN 中型指数、VN 小型指数は 0.07-0.24%の小幅な上昇となった。

投資家心理は改善してきており、安定しつつあると Thanh Cong 証券はデイリーリポートで報じた。

相場を牽引する大型株は、金曜日に利益確定圧力が高まったことで金曜日にまちまちの動きになった。

とくに利益確定の兆候が強かったのは、銀行、証券、IT、小売、鉱業、エネルギーなのであった。

金曜日に下落した個別株はベティンバンク（CTG）、BIDB 銀行（BID）、ペトロベトナムドリリング（PVD）、ベトキャピタル証券（VCI）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、FPT コーポレーション（FPT）などであった。

それらの銘柄は先々週に大きく売られた後に先週前半に大きく反発していたため利益確定圧力に見舞われたと VN ダイレクト証券はデイリーリポートで語った。

また、投資家は中小型株の中から大きく売られて反発していない株式に投資機会を求めたと語る。

金曜日に上昇した銘柄は、保険、その他金融、ヘルスケア医薬品、飲食料品、プラスチック・化学、水産加工、建設などであった。

VN 指数は 945-950 ポイントの抵抗線までの上昇が期待できるが、これ以上の上昇をもたらすような良いニュースは無いだろうと同社は語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.87%安の 104.92 ポイントで取引を終えた。

同指数は 3 営業日の上昇で 4.47%高となった。週間ベースでも 2.5%の上昇となった。

出来高は 3350 万株で売買代金にして 3500 億ドンほどであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようにお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。